

Face 顔

板倉ジュニアでの思い出

浜風の香りが漂う鹿島スタジアム。そこにひとときわ上背のあるサッカー選手がいます。垣田裕暉君15歳。サッカーU・17日本代表選手に選出されました。

垣田君はお父さんの影響でサッカーを始め、小学校3年生の時「板倉サッカークラブジュニア」に入りました。4年生の時、館林市の大会で決勝ゴールを決めたことがサッカーに夢中になったきっかけかもしれませんと話してくれました。そして、一番の思い出は6年生の時です。県で同時優勝した総体でのゴールをしつかりと覚えています。サイドからきたボールを、ワンタッチ、シュート。右のサイドネットを揺らしました。



垣田 裕暉くん

将来はビッグクラブで活躍して 日本を代表する選手になりたい

Profile
かきた・ゆうき 飯野出身/鹿島アントラーズジュニアユース所属 U・17日本代表に選出され、1月にUAE遠征に参加。4月からは鹿島アントラーズユースでの活躍が期待されます。



後列右から3番目が垣田選手

© J F A

鹿島ジュニアユースへ

6年生の時、強いクラブに入りたいたと鹿島アントラーズジュニアユースのセレクションを受けました。30m走やミニゲームを繰り返し行い、お母さんから合格の知らせを受け、本当にうれしかったそうです。鹿島での練習初日は不安と緊張がありました。しかし、鹿島の選手はみんなフレンドリーだったのですぐに慣れましたが、レベルが高く、3年間ここでやっていけるか

心配だったそうです。 U・17日本代表になって

日本代表は個人のレベルも桁違いに高く、やるサッカーも違って、前に前に行くというよりは、ゆっくり丁寧なボールをつないでいくサッカーでした。トラップひとつとっても、正確にすることがとても大事だと痛感しました。また、代表のメンバーは技術面以外にも意識が高く、生活する上で基本的なことがきちんとできていたそうです。

「代表のUAE遠征では通用しないこともあったけれど、通用することもあった。帰ってきてからは自信がついてプレーにも余裕が出てきた。自分の売りは、183cmの高さを生かしたヘディングとミスの少ないプレー。練習を重ねて小柄な選手と同じように柔らかなボールタッチができる選手になりたい。そうすれば使ってもらえる機会も増える」と話してくれました。

鹿島学園高校に入学が決まった垣田君、目標とする選手はバルセロナのセルヒオ・ブスケツ選手です。「将来はA代表を目指して、バルセロナなどのビッグクラブで名を得る選手になりたい」と夢を語ってくれました。サッカーへのひたむきな思い、さわやかな15歳。がんばれ、がんばれ！



レポーター
広報編集委員
関根 茂

サイエンス — 学びの扉 —

東洋大学 生命科学部



藤田 深里 助教

主な研究テーマ
・小型魚類を用いた血管発生生物学

メダカから見る発生生物学

血管発生の不思議を探る
血管生物学、発生生物学を専門とする藤田先生。2012年4月に東洋大学に着任する前は、アメリカの国立衛生研究所で、ゼブラフィッシュを用いた血管発生の研究をされていました。そこで得た知識、技術を基盤とし、現在は研究室の立ち上げをしながら、メダカを用いた血管発生の研究をしています。

メダカは、毎日30個くらい卵を産み、血管が見やすく、長く観察・研究ができるため、メダカを研究のモデルに選んだのだとか。マウスなどの高等動物では実験・観察ができない事もできて、得した気分になるそうです。

研究では、「ミュタント」というゲノムに変異を入れたメダカを観察し、異常な器官をピックアップして、それに係わる遺伝子を調べ、原因を探求します。「現在の基礎研究が将来的には、高等動物の研究に還元され、がんの血管新生、動脈硬化などを解決する薬の開発につながるとうれしい」と藤田先生は期待しています。

試行錯誤でより良い教育・研究を

「昨年、地域の小学生と理科の実験をとおして交流を持ち、楽しい時間を過ごせました。今後は、もっと地域の人々に研究成果の発表の場を持ちたい」と話す藤田先生。

研究室の立ち上げや学生への指導方法など自分にとっての新しい課題を克服し、人々の役に立つ研究を続けていきたいとのことでした。藤田先生の今後のご活躍に期待しています。

レポーター 広報編集委員 高野 勝良



みんなの

はがき・電話・FAX・Eメールでのご意見、ご質問、感想など「みんなの声」をお待ちしています！

聴かせてほしい あなたの声を！

町民の皆さん、日頃から考えていることや疑問に感じていることなど皆さんの声をお聴かせください。広報紙へのご意見やご感想も大歓迎。お寄せいただいた内容は、責任を持って対応します。

内容によって担当部署と協議・調整の上、回答していただきますが、広報紙面上には限りがあり、すべて掲載することができません。ご了承ください。

また、あなたの体験した身近な出来事や身の回りの役立つ情報、イベント情報などもお待ちしています。

一人ひとりの声がまちづくりの力になります。私たちの板倉がすてきな町になるように、皆さんのご協力をお願いします。

はがき、FAXやEメールなどでご意見をお寄せいただく場合は、住所、氏名の明記を必ずお願いします。皆さんからいただいた大切なご意見や質問も、連絡先などが未記入では、詳しい内容の確認や対応ができない場合があります。



差し上げます！
あなたの思い出



情報広報係では、町内で実施されているさまざまなイベントにお伺いし、取材させていただきます。

広報紙や町のホームページに掲載された写真がほしい場合は、お気軽にご連絡ください。無料でプレゼントさせていただきます。

問合せ 情報広報係
☎内線 151